

名門「パリ管弦楽団」の首席奏者による
優雅で華麗な伝統のフレンチ・ブラス！

パリ 管弦楽団 プラス・クインテット

Quintette de Cuivres de l'Orchestre de Paris



2023年

6月28日[水]午後7時開演(午後6時30分開場)

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール(4F)

Program

- クロード・ル・ユヌ：歌曲集『春』より“春はまためぐりくる”
- ジャン=フィリップ・ラモー：組曲より「アルマンド、サラバンド、未開人 ほか」
- クロード・ドビュッシー：小品集「亞麻色の髪の乙女、小さな黒人 ほか」
- ジョルジュ・ビゼー：カルメン組曲第1番(ミルズ編)
- ジョルジュ・ドルリュー：ステンドグラス(金管五重奏曲)
- アン・マクダナルド：シー・スケッチ(金管五重奏曲)
- アンドレ・ラフォース：即興組曲(金管五重奏曲)
- ミシェル・ルグラン：ヒット曲メドレー(シェルブルの雨傘、風のささやき、イルカのウーム、マクサンスの歌、ロッシュフォールの恋人たち)

※曲目・曲順は変更の可能性がございます、ご了承ください。

全席指定4,000円/大学生(社会人学生を除く)2,000円/高校生以下1,500円(税込)
当日券は各席プラス500円(残席があった場合のみ開場時間より販売)

[チケットお申込み]

- インターネット予約 ●チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード: 237-586
●ローソン <https://l-tike.com> Lコード: 35924
●e+(イープラス) <https://eplus.jp>

4/18(火)
10:00
チケット発売

若手演奏家たちによる金管アンサンブルコンサート(解説付き)

日 時：6月28日[水]17:00～18:00
場 所：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール(4F)
出 演：柔(やわら)プラス
(Tp 守屋紗弥 Tp 武藤向日葵 Hr 吉田智就 Tb 藤島裕也 Tuba 長澤照平)
演奏曲：アンドレ・ラフォース：即興組曲
TS brass
(Tp 富岡愛彩美 Tp 三上まさか Hr 井澤滉一 Tb 佐々木美桜 Tuba 松本匡偉)
演奏曲：ジョルジ・ドルリュー：ステンドグラス
入場無料(全席自由) ※要チケット
【お申込み】※公演チケット発売と同時に配布(文化総合センター大和田3階ホール事務室のみ取り扱い)
※開場は30分前、チケットに記載の整理番号順にご入場となります。

同日開催

お問合せ 渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室

TEL.03-3464-3252 (受付時間10:00～19:00)

※未就学児のご入場・ご同伴はご遠慮ください。※車椅子席はホール事務室にお問合せください。都合により出演者等に変更のある場合がございます(不可抗力により表記日時の公演を中止する場合以外は、チケットの払い戻しは致しません)。最新の情報は大和田公式ホームページにてご確認ください。



渋谷区民先行優待販売

全席指定3,500円/大学生(社会人学生を除く)1,500円/高校生以下1,000円(税込)

3/25(土)から文化総合センター大和田(3F)ホール事務室にて直接販売(10:00-19:00)。なくなり次第販売終了。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。発売日に残席があった場合は、翌日より電話予約可。

後援：日本トランペット協会／日本ホルン協会／日本トロンボーン協会／日本ユーフォニアム・チューバ協会

www.shibu-cul.jp 主催 渋谷区

パリ管弦楽団はパリ音楽院管弦楽団(1828年創設)を母体として当時の文化大臣アンドレ・マルローの提唱により文化大国フランスの威信をかけて1967年に創設された。初代音楽監督はアルザス生まれの名指揮者シャルル・ミュンシュ、以後カラヤン、ショルティ、バレンボイム、ビショコフ、ドホナーニ、クリストフ・エッセンバッハ、パーヴォ・ヤルヴィが順に楽団を率いた。2016年のシーズンよりダニエル・ハーディングが音楽監督を務めている。個々の技術が卓越したミュージシャンにより構成されているパリ管弦楽団では、フランス音楽を表現するのに適したクリアで色彩的な音色を持つ管楽器セクションに特長がある。特に金管楽器セクションからは胸のすくような透明なトーンと華麗で絶妙なアンサンブルを聴くことができる。パリ管弦楽団プラス・クインテットは全てのメンバーがパリ管弦楽団の首席ソロ金管楽器奏者であり、彼らの奏でるオール・フランス音楽プログラムは管楽器ファンのみならず日本の全ての音楽ファンを満足させるに違いない。

フレデリック・メラルディ(トランペット)

16歳でパリ国立高等音楽院に入学。3年後に満場一致の1等賞で卒業。すぐにはケント・ナガノが音楽監督を務めるリヨン国立歌劇場管弦楽団首席ソロ奏者に就任。1997年ビュコフに請われパリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。ジュリーニ、ブーレーズらもとで演奏。世界の優秀な奏者で構成されるスーパー・ワールド・オーケストラで度々来日。96年ボルチア国際コンクール(イタリア)1位、ソリストとしても積極的に活動し、ウェネツィアのパドウア管公演でのオルガンとの共演やリヨン歌劇場管とのヒンデミットのトランペットとファゴットのための重協奏曲、ブリュッヘン指揮・ワル管とのハイドンの協奏曲、ロストロポーヴィチが晩年にパリ管を指揮したショスタコヴィチのピアノ協奏曲などを出演。また、ターリヒ弦楽四重奏団との共演やパリ管弦楽団プラス・クインテットの日本公演など室内楽においても高い評価を受ける。演奏ツアーや録音も活発で、金管アンサンブル、プロ・プラスに参加。さらにIndesensレベルでの数々の録音は高い評価を得た。バンドジャーナル誌2014年1月号で表紙を飾った。

Frédéric Mellardi
(Tp.)

セlestin・ゲラン(トランペット)

5歳の時にトランペットを習い始める。フランス国立放送フィル奏者のイバム・マアルフ、ジェラール・ブランジェに師事したのち、パリ音楽院入学後、パリ管弦楽団奏者のクレモン・ガレック、ビエール・ジレに師事。パリ音楽院の両教授の下でオーケストラ・レパートリーの研鑽を積み、パリ国立歌劇場、パリ管弦楽団、フランス国立フィル、パリ室内管弦楽団の公演に参加。エラスマス(ヨーロッパの留学制度)の留学生としてドイツのランホルト・フリードリッヒに師事し、コンセルトのレパートリーに磨きをかける。2016年には満場一致でマスターを取得し、ヴァラリー・ゲルギエフが指揮するベルビ音楽管弦楽団のメンバーとなる。2017年秋、ルーアンで開催された第1回エリック・オビエ国際コンクール優勝者となる。数週間後、国立メス管弦楽団の首席奏者に任命される。翌年、ミュンヘン国際音楽コンクール2位を受賞、同時にBRクラシック賞を受賞した。現在、パリ管弦楽団首席ソロトランペット奏者。2019年、パリ管弦楽団に首席ソロ奏者として入団。



アンドレ・カザレ(ホルン)

パリ音楽院を2つの1等賞を得て卒業。ブーレーズ率いるアンサンブル・アンテルコンタンボランのソリストとして活動した後、1980年からパリ管弦楽団の首席ソロホルン奏者を務める。ソロ奏者として、エッセンバッハ、ヤルヴィ、ビショコフ、サヴァリッシュ、パッバーノらの指揮者と共に演奏。また室内楽の分野においては、バレンボイム、ターリヒ弦楽四重奏団、バスカル・ロジエ、ラベック姉妹、J-P・ランバル、バユ、エッセンバッハ、エマール、レレゾフスキーラと共演している。レパートリーは18世紀から現代まで幅広く、作曲家がホルンのための作品を彼に献呈し、それを初演することも多い。グラムスとリゲティの三重奏曲の録音はディスク・グラムプリを受賞。2011年ヴィクトワール・ド・ラ・ムジーク受賞。ショヴァリエ芸術文化勳章受章。

André Cazalet
(Hr.)



ギヨーム・コテ=デュムーラン(トロンボーン)

10歳の時にサン=ジャン・ドルプの音楽学校でユーフォニアムを始める。1993年パリ国立高等音楽院に入学。96年ユーフォニアムと室内楽において1等賞を得て卒業。95年からトロンボーンの演奏を始め、97年パリ国立高等音楽院のジル・ミリエールのクラスに入る。2000年に1等賞を得る。01年エッセンバッハが首席指揮者を務めるパリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。02年よりミリエールトロンボーン四重奏団メンバー。03年フィンランド・リエクサ国際コンクールにおいて3位入賞。13年よりヴェルサイユ地方音楽院トロンボーン科教授。

ステphanie・ラベリ(チューバ)

1991年トゥールーズ国立地方音楽院を審査員満場一致にて金メダル。同年リヨン国立高等音楽院に入学。95年満場一致の優秀賞で卒業。95年シドニー国際チューバコンクール、96年マルクノイキルヒエン国際コンクール、97年リヴァ・デル・ガルダ(イタリア)国際コンクールでいずれも優勝。08年ボルチア国際コンクール(イタリア)2位。2000年ソリストとしてミシェル・ラザン指揮フランス国立キャピトル・トゥールーズ管弦楽団に招かれた。「チューバのバブロ・カザルズ」と称される。また、ヴィクトワール・ド・ラ・ムジーク賞をベイドゥ・ラ・ロワール(ロワール県)管弦楽団とともに受賞。リサイタルや室内楽、音楽祭でも活躍し、録音においてはCD「Rencontre(出会い)」がディアバゾン誌において4つ星を獲得した。国立リヨン歌劇場管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル管を経て、1999年10月、パリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。

Stéphane Labeyrie
(Tub.)

アクセス1：渋谷駅より徒歩5分
国道246号を越えてセリリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します
アクセス2：大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤけこやけルート)にて乗車時間約2分
バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

渋谷区文化総合センター大和田
SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21



いいね! クラシック
さくらホール
コンサート

過去の公演の様子は、YouTubeにて配信中。
2020年▶ <https://youtu.be/ZWhNZbrEEic>
2022年▶ <https://youtu.be/pWWy4K0sfLE>

2020.11.21 2022.1.28



渋谷のまちから未来の音楽家を育てませんか? アートと音楽とまちづくり♪コンプロジェクト 2023「大和田ランチタイムコンサート」(全2回)

渋谷区では2014年よりプロの音楽家を志す演奏家たちに日ごろの成果を披露する場としてランチタイムコンサートを開催しています。2023年は、金管アンサンブルの登場です。

日時：2023年7月7日(金)・8日(土) いずれも12:15～13:00

会場：渋谷区文化総合センター大和田1F・彫刻「天秘」(安田侃・作)を囲んで

※半屋外のため悪天候の場合は中止になる場合がございます

観覧：無料。未就学児大歓迎!!(予約不要、立ち見となります)

出演：7月7日(金) 柔(やわら)プラス(Tp 尾守紗弥 Tp 武藤向日葵 Hr 吉田智就 Tb 藤島裕也 Tuba 長澤照平)

7月8日(土) TS brass(Tp 富岡愛彩美 Tp 三上まさか Hr 井澤滉一 Tb 佐々木美穂 Tuba 松本匡徳)

※詳細については、後日大和田公式ホームページにて発表。



安田侃《天秘》